

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	南足柄市社会福祉協議会		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	食料支援プロジェクト～みなみのお福さん～		
事業の目的	社協に寄せられる食料、備蓄食品および日用品の管理を行い、食料を必要とする個人、世帯、団体に届ける仕組みを整える。個人への支援に対しては、食料（経済）の貧困から関係の貧困に陥らないように、関係機関とのつながりも強化する。		
事業概要	食料配布会について、年間3回開催する食料配布会では、市各課と連携して、経済的な事情を抱える住民に情報が届くよう広報し、必要に応じた配布を目指す。個別の配布について、同時に利用した方へ社協LINEへの登録を促すなど、SNSを利用した情報提供を随時行い、よりスムーズな配布を行う仕組みを作っている。貸付相談世帯等に必要に応じた食料や日用品の提供が行えるように体制を整える。住民に広く家庭で不要な食料品や日用品の寄付を呼びかけ、配布会の際には、地域住民や商店、団体からの寄付品を世帯ごとに分けて配布。ボランティアの協力を得て、寄付を受けた食料品等を整理・管理し、食料を必要とする方の要望にすぐに応えられるよう準備。		
成果や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市関連各所への周知がされ、日常的な相談で食料をお渡しすることが増えた。 ・チラシの配付やイベントでの広報により、住民や市内商店からの寄付が増えた。 ・ひとり親世帯への周知方法は確立してきているが、高齢者層へのアプローチが課題。 ・物資や配付方法について、継続的な食糧支援ができる体制づくりを構築していきたい。 		
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・配布会への参加をきっかけにした利用者とボランティアとのつながり作りの場として機能することで、地域福祉の向上をはかっていく。 ・配布会では地域の商店や農家、家庭菜園で採れた米や青果といった生産物を受け付けるなど、市の特性を活かしながら、支援を持続していくことで地域での社会資源の活用をしていきたい。 ・市内商店などからの寄付を随時受け、社協LINEの登録者へ日常的に配布することでSDGsの観点からも、フードロス減らす効果をねらいたい。 ・住民自身にとって不要な品物を無駄にせず、寄付し他の人のために役立てる支え合いの仕組みを構築する。 		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	  		